

進路学習の道筋を立て、デジタル版導入でICTを徹底活用した3年計画のプランに

賢明学院中学高校 (大阪・私立)

【活用キーワード】 >> オンライン進路学習 ● 適性診断テスト ● 職業観育成

スタディサプリ活用法

● 2021年1年次・進路学習プラン

4月
自己理解

5月
自己理解

6月
自己理解

7月
職業・学問理解

8月
職業・学問理解

9月
職業・学問理解

10月
職業・学問理解

11月
分野研究

12月
分野研究

1月
学校研究

2月
学校研究

3月
学校研究

ゴールデンウィーク明けに『適性診断』を実施。自分の知らない自分の可能性に気づいて視野を広げ、進路探究のきっかけをつくる。

職業観を育成し、進路選択に向けての情報を集め、視野を広げる。ワークシートを活用し、書くことで考えをまとめていく。

将来の進学分野を見据えた文理選択をするために、学部につながる分野の研究をする。

文理選択後、将来、自分が関わりたい分野が学べる学校を調べる。知っている学校を増やし、興味がある学校に資料請求を行う。

進路指導部長の富来豪先生。

課題
継ぎ接ぎの進路学習から3年計画で、生徒がゴールを目指せるプランに

2020年4月から関西学院大学系属校となり、「特進文理コース」「進学コース」に加えて「関西学院大学特進サイエンスコース」を新設した賢明学院中学高校。大学との連携により理系を強化するだけでなく、カリキュラムや課題解決型学習の充実を図るなど、2020年度は同校にとって変革の年だった。

「同時に進路指導も見直しました。生徒のためにアレもコレも考えていくうち、継ぎ接ぎのような指導になっていたため、リクルートの営業の方に相談して学年ごとに道筋を立て、3年計画でゴールが見えるプランを作成しました。ゴールが見えれば生徒もやる気になり、教員も指導がしやすい。また、スタディサプリ進路学習がデジタル版になったので、進路学習でもICTを活用したいと考えました」と、進路指導部長の富来豪先生。

活用
導入時に教員説明会を実施。徹底活用と情報共有で、生徒の心に火をつける

「比較的早くからICT環境を整えてきた当校ですが、活用には力を入れたのは2018年度から。デジタル教材を導入しても投げっぱなしではダメ。先生たちが面倒と感じたら活用は進みません。先生たちに便利さや使う目的を理解してもらったことが一番大事なので、今回は導入時に教員に向けて説明会を行いました」と富来先生。説明会では進路指導の新3年計画を発表するとともに、デジタル版のアンケート機能を進路状況調査などに活用しながら、「生徒の心に火をつけ、進路選択のモチベーションを上げていこう」と導入目的を話したという。

「より良い進路選択のためには、高校1年生からの職業観の育成が何より重要です。新3年計画では、1年のGW明けからモチベーションを上げるために進路探究のきっかけづくりをし、成績が伸びる7月か

ら12月にかけて仕事と学問への理解を深めて文理選択へとつなげる。2年生は夏休み前に学部学科研究をし、成績が伸びてくる夏休みから冬休み前までに情報を集めて考えをまとめ、3学期に第一志望決定。3年生は、入試に向けての情報整理を指導の中心に据えました。

コロナ禍の影響でスケジュールが遅れることはありましたが、ICT活用は一気に進みました。生徒たちもタブレットを使い、面白がって進路学習をやっている。特にアンケート機能の使い勝手が良く、生徒の声がつかみやすくなったことが収穫です。アンケートを基に生徒と密に面接をする、頻繁に会議を開いて各学年の進路指導主任と担任とで情報共有をするなどしたことで、全クラス、同じ熱量で進路学習ができたと思います」

生徒たちのモチベーションを高めるために、2021年度はスタディサプリ高校講座の「よのなか科」「小論文入門」なども取り入れ、ICTをさらに活用した進路指導を進めていく予定だという。



進路指導部長
とみき 富来 豪先生 (社会科)

School Data

創立1954年 / 普通科(男女)
/ 生徒数455人(男子251人、
女子204人)進路状況(2021
年3月実績)大学146人、短大9
人、専門学校等16人